

本校の目指す児童像

育てたい資質能力 <学ぶ力>

○よく考え進んで学び合う子ども <知>
 ○豊かな心で助け合う子ども <情>
 ○強い心でやりぬく子ども <意>
 ○体をきたえるたくましい子ども <体>

➔

①当該学年の学習内容を習得できる力【基礎学力】
 ②学んだことを他教科や生活に生かすことができる力【思考力】
 ③自分のことばで、考えを伝えることができる力【表現力】

目標

○本校児童の学力に対する課題を明確にし、課題改善に向けての方策を考え、全校で共通の取組を行うことで、課題を改善し、学力の向上を図る。

基本的な考え方

○PDCAサイクルを通して、評価→改善を確実に行う。
 ○本校としての目標を精選して設定し、その達成に向けて全職員で計画的に取り組む。

児童の実態

国語		算数	
話す聞く	102	数と計算	104
書く	102	図形	101
読む	99	測定・データの活用	99

国語		算数	
知識・技能	105	数と計算	98
話す聞く	100	図形	79
書く	97	測定	
読む	92	変化と関係	104
		データの活用	102

国語		算数	
知識・技能	87	数と計算	100
話す聞く	100	図形	106
書く	114	測定	102
読む	103	変化と関係	96
		データの活用	102

<結果より>
 どの学年も、国語、算数それぞれ全国や県の平均を上回る領域が見られ、これまでの取組の成果が見られている。昨年度特に全国・県平均よりも下回っていた「書くこと」についても、少しずつ成果が見られる。学年によって得意・不得意な領域が違いため、各学年で苦手分野の分析と課題に対する具体的な方策を立て、実践を重ねていきたい。また、校内研修と連動しながら授業改善を通して学力の向上を図っていく。また、「学力向上のための三つの提案」を意識した日々の授業実践の積み重ねが、「できた」「わかった」の笑顔があらわれる授業となり、基礎学力の定着へとつながる。大規模校だからこそできる学年チーム力を生かし、全職員で共通実践に努めていきたい。

達成目標

次年度のCRT標準学力調査、県学力調査、全国学力・学習状況調査において、
国語科、算数科それぞれ今年度の数値を上回ることを目指す。

具体的取組

授業改善

- (1) 「めあて（課題）」と「まとめ」が子供に届く授業
 - ・毎時間板書 ・必要感をもたせる導入の工夫
- (2) ねらいに即した「書く活動」を重視する授業
 - ・同時に主語、述語など文章の基本構造の理解など、RSを意識した授業
- (3) 校内研修（算数科）と連動した授業改善
 - ※「みんなで分かる、みんなが分かる」を目指した学び合い

授業以外における学習指導

- (1) Fタイム（朝学習）の充実
 - ・児童の実態（学力テスト結果考察）に応じて必要な課題を設定し、計画的に取り組む。（月曜日：国語 金曜日：算数）
 - ・算数検定（毎月第4金曜日）
 - ・担任＋αの協力体制での指導
- (2) 算数教室における個別指導の充実
- (3) 夏休み前半に「サマースクール」を実施し、希望者に学習の補充を行う。

生活習慣の確立と家庭学習指導

- (1) 「学びの習慣化のリーフレット」作成・配付で、家庭への啓発を図る。
- (2) 「ぎばっぞカード」の取組で、自主的な家庭学習の習慣化を図る。
- (3) 「家庭学習強調週間」の設定で、家庭学習の充実を図る。

年間スケジュール

- 4月 福小学習の約束徹底月間
- 6月 算数教室開始
ぎばっぞカードへの取組(1回目)
第1回算数検定（以後毎月実施）
- 夏休み サマースクール
CRT、県学力、全国学力分析
2学期以降の具体的取組策
- 9月 福小学習の約束徹底月間
- 10月 ぎばっぞカードへの取組(2回目)
- 12月 2学期の取組に対する反省
- 1月 福小学習の約束徹底月間
- 2月 ぎばっぞカードへの取組(3回目)
- 3月 今年度の取組に対する反省と
来年度に向けての取組

※日々「学力向上のための三つの提案」を意識した授業改善に努める。